

EM1
製造国一覧

- Argentina
- Australia
- Belize
- Bhutan
- Bolivia
- Brazil
- Cambodia
- Cameroon
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Cuba
- Dominican Rep.
- DPR Korea
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Ethiopia
- Germany
- Guatemala
- Honduras
- India
- Indonesia
- Iran
- Jamaica
- Japan
- Kenya
- Lao PDR
- Libya
- Malaysia
- Maldiver
- Mexico
- Myanmar
- Nepal
- Netherlands
- New Zealand
- Nicaragua
- Pakistan
- Panama
- Paraguay
- Peru
- Philippines
- Poland
- R Korea
- Russia
- Saudi Arabia
- Senegal
- Singapore
- South Africa
- Spain
- Sri Lanka
- Sudan
- Switzerland
- Syria
- Taiwan
- Thailand
- Tunisia
- Ukraine
- U.S.A.
- Uruguay
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen



海外各地へ輸出される
EM-X GOLD
EM-X GOLDの出荷本数は年間で
日本国内が
約600,000本、
さらに海外へも
約70,000本、
を輸出。
地球規模でその良さが伝わり、
広がっています。



地球規模で広がるEMとともに EM-X GOLDも人気拡大中!!

EMは現在、南極を除く全ての大陸にEM生産拠点があり、
現在では、世界64カ国においてEM1の現地製造が行われ、
130カ国以上にその技術情報が伝えられています。
そのグローバルネットワークを通して、
EM-X GOLDも世界各地に浸透中です。

EMの技術の広がり

ポーランド

「Greenland Technologia EM社」が2000年からEMの製造販売を行い、ビールかすの処理や農業などに活用されています。2003年には国際微生物学会でのセミナーなど普及の中心を担っています。



EM団子を川に投入(川の浄化活動)

ドイツ

1997年にEMが導入され、2000年からは「EMIKO」が普及にあたり、幅広い分野での応用が進んでいます。



オーストリアで開催したEMセミナーでのEMIKO製品展示

コスタリカ

1997年より「アース大学」を中心とした普及がスタート。農業をはじめ畜産、養殖、環境等の応用と技術者の養成を通じて、中南米諸国でのEM普及展開の拠点ともなっています。



アース大学のバナナ園

ニュージーランド

「New Zealand Nature Farming Society (ニュージーランド自然農法協会)」によって1997年からEMの技術応用がスタートしました。畜産大国だけあって、農業はもちろん牧草の栽培にもEMが大きな役割を果たしています。



Lincoln大学内のEM実践区での野菜栽培

タイ

「EMRO Asia Co. Ltd」によって、農業分野はもとより、畜産廃棄物処理、エビ養殖、都市ゴミの悪臭対策、有機性ゴミの堆肥化、汚水処理などの普及が進んでいます。タイ北部での地域活性化プロジェクト、2004年のスマトラ沖地震被災地の衛生活動など国家的プロジェクトにもEMが大活躍しました。



EM団子と活性液づくりを行った地元の小学生たち

アメリカ

「TeraGanix, Inc.」によってEM1ほか関連商品の販売・普及を行っています。



EM活用の有機栽培農家訪問(アリゾナ州ツーソン)

オランダ

1995年より「EM Agriton BV」を通じてオランダはもとより、畜産・農業分野においてヨーロッパ各国にEMを供給しています。